

銀行名	鹿児島銀行
タイトル	専門性の高い外部コンサル導入により経営改善の迅速化が図られた事例
取組み内容	<p>【経緯】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・取引先 A 社は、特殊大型工事の受注力を持ち、大手ゼネコンとのパイプも太い地元の建設業者。 ・連続の営業赤字を計上しており、受注力はあるものの工事採算等管理体制がずさんな結果、近年は売上総利益段階で赤字を計上。 ・工事の採算管理体制の構築のため、建設業現場に精通した外部コンサルを導入。 <p>【取組み内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・売上総利益率改善による利益体質の構築（受注金額・実行予算策定・原価管理赤字現場の損失補填交渉等） ・月次決算体制（会計事務所の変更による試算表作成を迅速化）、営業キャッシュフローの確保による自前の資金繰り体制の構築 ・現場責任者の管理意識の向上 ・外部コンサルとともに当行も毎月のモニタリング会議に参加 ・メインバンクとして、月次損益の内容検証や工事進捗管理報告と工事現況調書の比較検証を行うなど、会議内容のレベルアップや精緻な資料の作成に関与 <p>【成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・社長をはじめ管理職全員参加で、毎月経営改善会議を開催。各工事毎の進捗、予算消化状況等を各責任者が説明。会社全体の月次損益状況が、担当会計事務所の変更により、翌 10 日頃には把握できる体制となり、各現場の状況が会社にどのような影響を与えているかを全員が理解できる体制を構築。 ・大手ゼネコンとのパイプが太いことが強みである一方で利益率が低く、社長自ら利益率改善の交渉をするなど、役員の意識改革が進んだ結果、経営改善が図られ、資金繰りの安定化や債務圧縮につながっている。 <p>【本事例の特徴】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・専門性の高い外部コンサルを紹介したこと、コンサル任せにならずに営業店担当者が懸命に経営者に働きかけたこと、以上により問題解決が迅速に図られ、モニタリング体制も構築でき、経営陣の経営改善意欲も大幅に高まった事例。 <p style="text-align: right;">以上</p>

銀行名	鹿児島銀行
タイトル	地元企業、地公体、金融機関が連携した企業誘致による地域活性化
取組み内容	<p>【経緯】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 当行は、大手製造業の撤退が進む鹿児島県日置市と「包括的業務協力協定」を締結し、地域活性化を企図。 ・ 同協定に基づき、日置市に風力発電事業を目的とする「日置ウインドパワー(株)」を誘致。 ・ 当行と日置市は、これまでも再生可能エネルギー導入推進を目的とした太陽光発電事業会社の誘致やオリーブを活用した6次産業化への取組みを実施。 <div data-bbox="507 730 1466 819" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>日置ウインドパワー(株)：くろしお風力発電(株)(日立関連企業)をメインスポンサーとし、当行、日置市及び地元企業が出資を行い、新たに設立した会社</p> </div> <p>【取組み内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 日立、日置市と連携して、事業計画段階から関与。 ・ 地元企業への協力依頼、事業リスク・収支の検証、スケジュール管理等、総合的にプロジェクトのサポートを実施。 <p>【成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 地元企業の出資協力を得て新会社を設立。 ・ (株)日立パワーソリューションズが EPC 企業となり、地元企業が土木関連工事を請負。今後も継続して風力関連の工事受注等見込めるもの。 ・ 設備資金については、当行が幹事行となりシンジケート・ローン 23 億円を組成。 ・ 事業開始：平成 27 年 9 月を予定。 <div data-bbox="496 1344 1412 1384" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>EPC 企業：プロジェクトにおける設計から建築までを請け負う企業</p> </div> <p style="text-align: right;">以上</p>

銀行名	鹿児島銀行
-----	-------

タイトル	かごしま新産業創生ファンドの協働設立
------	--------------------

取組み内容	<p>【経緯】</p> <p>国の成長戦略に掲げる成長分野（農林水産・医療・環境分野）を中心に新産業の創出を行うことを目的として、鹿児島ディベロップメント株式会社（ファンド運営会社）と「かごしま新産業創生ファンド」を協働で設立。</p> <p>同ファンドは当行が第5次経営戦略計画に掲げる「地域マーケットの創造・地域産業振興の積極支援」を企図し、事業の創生期にあたる研究・技術シーズに対して開発段階から事業化に向けて積極的に金融仲介機能を発揮することで新産業・ビジネスの創出による地域経済の活性化・拡大に繋げていくことを目的に創設したもの。</p>														
	<p>【取組み内容】</p> <table border="1"> <tr> <td>名 称</td> <td>かごしま新産業創生ファンド</td> </tr> <tr> <td>ファンド総額</td> <td>約20.1億円</td> </tr> <tr> <td>ファンド設立形態</td> <td>投資事業有限責任組合</td> </tr> <tr> <td>無限責任組合員</td> <td>鹿児島ディベロップメント株式会社</td> </tr> <tr> <td>有限責任組合員</td> <td>株式会社鹿児島銀行</td> </tr> <tr> <td>主な投資形態</td> <td>株式（普通株・優先株）、新株予約権付社債</td> </tr> <tr> <td>投資対象</td> <td>将来有望な研究・技術シーズを保有する大学、研究機関、企業等の研究者、事業者</td> </tr> </table>	名 称	かごしま新産業創生ファンド	ファンド総額	約20.1億円	ファンド設立形態	投資事業有限責任組合	無限責任組合員	鹿児島ディベロップメント株式会社	有限責任組合員	株式会社鹿児島銀行	主な投資形態	株式（普通株・優先株）、新株予約権付社債	投資対象	将来有望な研究・技術シーズを保有する大学、研究機関、企業等の研究者、事業者
	名 称	かごしま新産業創生ファンド													
	ファンド総額	約20.1億円													
	ファンド設立形態	投資事業有限責任組合													
	無限責任組合員	鹿児島ディベロップメント株式会社													
	有限責任組合員	株式会社鹿児島銀行													
	主な投資形態	株式（普通株・優先株）、新株予約権付社債													
	投資対象	将来有望な研究・技術シーズを保有する大学、研究機関、企業等の研究者、事業者													
	<p>投資イメージ</p> <p>大学・研究機関・企業 様々な研究・技術シーズ</p> <p>事業化可能なシーズを起業化へ</p> <p>事業化へ橋渡し</p> <p>起業化</p> <ul style="list-style-type: none"> ・M&Aによる株式譲渡 ・株式買取 ・研究・技術シーズのライセンスアウト ・IPO 想定 ・事業拡大 <p>シード段階・事業化構想段階 プレベンチャー段階 ベンチャーアーリー段階</p> <p>かごしま新産業創生ファンドによる支援・育成（資本投資） 鹿児島銀行による支援・育成（借入金）</p>														
<p>【成果】</p> <p>現在2社7.05億円の投資を実行。</p>															
以上															

銀行名	鹿児島銀行
タイトル	業務提携先を活用した海外販路拡大支援
取組み内容	<p>【経緯】</p> <ul style="list-style-type: none">・平成 22 年 10 月 26 日、東亜銀行（香港）と日本、香港、中国などにおける取引先の販路拡大に向けた顧客斡旋等に関する業務提携を締結。・香港向け県産品輸出に向けた商談会の共催について協議。・平成 23 年 3 月、原発事故発生による風評被害を懸念し、商談会開催について当面の見送りを決定。・平成 24 年 10 月、各国の日本産食品輸入規制の緩和、風評被害縮小傾向をもって、東亜銀行に商談会共催に関する協議の再開について打診、双方合意。 <p>【取組み内容】</p> <ul style="list-style-type: none">・平成 25 年 10 月 16 日「かぎん・東亜銀行商談会 in 香港」を開催（当行側 21 社、東亜側 60 社出展）。・東亜銀行の顧客網を活用し、現地卸、小売店、レストラン等に本商談会を広く案内。・当日来場したバイヤーに東亜銀行の担当者が同席し、商談内容の確認、資金決済面でのアドバイス等を実施。 <p>【成果】</p> <ul style="list-style-type: none">・当行取引先と東亜銀行取引先である有力バイヤーとの商談の実現。・本商談会を通じて 5 社が成約。香港向け販路拡大につながった。・現在「第 2 回かぎん・東亜銀行商談会 in 香港」開催に向け協議中。 <p style="text-align: right;">以上</p>

銀行名	鹿児島銀行
タイトル	森林整備への取組み
取組み内容	<p>【背景】 地球温暖化による気候変動が農業・観光業を主要産業とする鹿児島、宮崎に与える経済的損失は計り知れないものがあることから、環境保全に向けた基本理念、基本方針を定めた「鹿児島銀行環境方針」に基づき例年、森林整備活動を実施。</p> <p>【取組み内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・鹿児島県との「かごしま環境パートナーズ協定」により、鹿児島市内の県有林約3haの間伐を実施。 ・鹿児島県が主催する「九州森林の日」植樹祭に参加および協賛を実施（当行からは例年100名程参加）。 <p>【成果】 平成25年度の間伐の結果、「かごしまCO2吸収量等認証制度」により121tのCO2吸収量の認証を獲得。</p> <p>【参考：過去のCO2吸収量】 （120t/平成22年度分、132t/平成23年度分、106t/平成24年度分）</p> <p style="text-align: right;">以上</p>

銀行名	鹿児島銀行
タイトル	金融教育への取組み
取組み内容	<p>【背景】 当行は、地域の生徒・学生の金融経済に対する興味・理解を深め、当行に対する親近感を高めていただくために、「金融教育を通じた地域貢献事業」を実施している。</p> <p>【取組み内容】</p> <p>1．大学・短大生向けの取組み</p> <p>(1)「インターンシップ」</p> <p>目的 学生の企業研究の一助とすることを目的に講義と営業店見学等を組み込んだ5日間のプログラムを年1回実施（開催実績12回）。</p> <p>内容 講義：「働くということ」「就職活動」「ビジネスマナー」「県内景況」「当行の取組み」「当行の能力開発制度」 見学：営業店、住宅センター、個人プラザWELL</p> <p>(2)「かぎんスプリングセミナー」</p> <p>目的 学生の就職活動開始を前に、社会人としての心構えや職業観の醸成につなげるために開催。</p> <p>内容 講義：「働くということ」「鹿児島銀行の取組みについて」 先輩行員の経験談 情報交換</p> <p>2．中高生向けの取組み</p> <p>(1)「職場体験学習・インターンシップ」</p> <p>目的 中学・高校からの職場体験学習ニーズに応え、地域教育の充実に貢献するために開催。</p> <p>内容 講義：「職場で望まれる人物像」「ビジネスマナー」「銀行の役割」「ローンとクレジット」 実習：あいさつ、札勘、電卓計算 など</p> <p>(2)「全国高校生金融経済クイズ選手権 エコノミクス甲子園 鹿児島大会」</p> <p>目的 高校生を対象に、金融経済の知識を楽しみながら身につけていただくために年1回開催（開催実績5回・参加チーム約40）。</p> <p>内容 金融経済に関するクイズをチーム毎に予選・決勝ラウンドで競う。優勝チームは東京での全国大会に招待され、全国大会優勝チームはニューヨーク研修旅行に招待される。第1回大会、第4回大会にて、ラサール高校が全国優勝となった。</p>

3 . 小学生向けの取組み

(1) 「かぎん夏休み お金の教室」

目的

金融経済に対する興味を深めていただくために年 1 回開催（開催実績 5 回）

内容

「お金の使い方」や「鹿児島県の産業」に関する講義、クイズ大会、ゲーム。

【成果】

- ・各取組は開催回数を重ねてきたことで CSR 活動の一環として定着し、参加者が年々増加している。
- ・参加者からは、金融知識の向上や参加者間での交流につながったと好評を得ている。

以上